

審議会会議録

1 会議の名称	令和3年度第4回富津市子ども・子育て会議
2 開催日時	令和3年12月14日（火） 午後1時30分～午後2時20分
3 開催場所	富津市消防防災センター1階 会議室1・2
4 審議等事項	議題 （1） 私立富津保育園の利用定員の変更について （2） 富津市市立保育所再配置計画（案）について
5 出席者名	○出席委員 真下 めぐみ、安藤 鮎香、菊地 洋子、黒木 淳一、 宮原 俊一、有馬 佐知子、飯田 裕美、平野 香織、 今井 常夫、都倉 康宏、諸岡 賛陞、保坂 典江 ○事務局 坂本健康福祉部長、中山子育て支援課長、 水島子育て支援係長、白石主任主事、荒木主任主事、 山口健康づくり課総括保健師
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	1人（定員5人）
9 所管課	健康福祉部子育て支援課子育て支援係 電話 0439-80-1256
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和4年1月19日

会議録署名委員 諸岡 賛陞

会議録署名委員 都倉 康宏

発言者	発言内容
<p>事務局 (荒木主任主事)</p>	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日、進行を務めさせていただきます子育て支援課子育て支援係の荒木と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議を始める前に、本日の資料等の確認をさせていただきます。</p> <p>○会議資料 (事前送付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 グループ討議意見と市の考え方 ・資料2 公立保育所再配置計画たたき台からの変更点 ・資料3 富津市市立保育所再配置計画(案) <p>(当日机上配付)</p> <p>次第、委員名簿、席次表</p> <p>追加資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2 公立保育所再配置計画たたき台からの変更点 (※資料差し替え) ・資料4 特定教育・保育施設利用定員の減少について <p>(その他)</p> <p>富津市公立保育所再配置計画たたき台 (令和2年度第3回会議 資料1)</p> <p>公立保育所再配置計画たたき台に対するグループ討議内容(富津・大佐和・天羽地区)</p> <p>第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画(冊子)</p> <p>前回の会議において、委員の皆様には引き続き委員をお引き受けいただきたいとお願いをしましたところ、全ての委員の皆様にご快諾をいただきました。簡略で恐れ入りますが、辞令をお手元に置かせていただきましたので、ご確認くださるようお願いいたします。</p>

発言者	発言内容
事務局 (荒木主任主事)	<p>○会議の成立</p> <p>本日は、15名の委員のうち、委員名簿2番の村治委員、6番の岩濱委員、13番の古川委員におかれましては、ご都合により欠席でございまして、12名の方に出席いただいております。</p> <p>したがいまして、委員の過半数の方が出席されておりますので、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>○会議の公開</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により、会議を公開することとなっております。なお、本日の傍聴人は1名でございます。</p> <p>また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承くださいませようお願いいたします。</p> <p><次第1 開会></p> <p>ただいまから、令和3年度第4回富津市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>次に、坂本健康福祉部長からご挨拶申し上げます。</p>
事務局 (坂本部長)	<p><次第2 挨拶></p> <p>改めましてこんにちは。健康福祉部長の坂本です。</p> <p>今年も残り2週間余りとなりました。また、今日は大変寒い中、ご参加いただきましてありがとうございます。</p> <p>委員の皆様方には、第4回目になります子ども・子育て会議にご出席をいただきまして、改めて感謝申し上げます。また、子ども・子育て会議委員の委嘱期間の満了に伴いまして、引き続き委員をお引き受けいただきたいとお願いをしたと</p>

発言者	発言内容
	<p>ころ、全ての委員の皆様から再任の御快諾をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>皆様には、これまでの会議におきまして、公立保育所再配置計画をはじめ、市の子育て施策に対し、大変多くの貴重なご意見等をいただいております。</p> <p>本日は、市民の皆様から広く意見をいただきたく、パブリックコメントとしての富津市市立保育所再配置計画（案）をこれからお示しいたしますので、ご審議いただきたいと考えております。引き続き、委員の皆様方には活発なご意見やご討議をお願い申し上げます。</p> <p>ここで、私の方から委員の皆様にご報告がございますので申し上げます。</p> <p>1点目は、青堀保育園の運営についてです。6月開催の第1回会議におきまして、現在の運営事業者の高砂福祉会の令和5年3月をもつての撤退をご説明させていただきました。新たな運営事業者を決定するための公募を、先日の12月1日に開始をしております。また、12月7日には現地で説明会と施設の見学会を実施したところであります。今後は事業提案の選考を経まして、来年の2月に提案採用者を決定する予定でございます。</p> <p>2点目に、コロナ禍の影響による経済支援の一つといたしまして、子育て世帯への臨時特別給付金として、まずは児童手当受給者1人あたり5万円を12月24日に振込をさせていただきます。残り5万円につきましては、現金給付というご意見が多い中、時期と方法についてはただいま検討中というところでございます。</p> <p>以上2点を報告させていただきます。私の挨拶と代えさせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。</p>

発言者	発言内容
事務局 (荒木主任主事)	<p><次第3 会長及び副会長の選出></p> <p>次第に沿って進めさせていただきたいと存じますが、本会議設置条例第6条第1項の規定で「会議は会長が招集し、その議長となる」とあります。しかし、今回は再任されて初めての会議ですので、次第3の会長及び副会長の選出につきましては、坂本健康福祉部長が仮議長を務めさせていただきますので、ご了承くださいようお願いいたします。</p>
仮議長 (坂本部長)	<p>それでは、会長及び副会長が選出されるまでの間、暫時、仮議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次第3の「会長及び副会長の選出」についてを議題とします。まず、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局 (中山課長)	<p>それでは、「会長及び副会長の選出について」ご説明いたします。着座にて失礼いたします。</p> <p>「富津市子ども子育て会議設置条例」第5条第1項に「会議に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める」と定められておりますので、委員間で選出をお願いいたします。</p> <p>なお、互選の方法については条例に規定はありませんが、一般的には委員の投票により決する選挙、指名して推薦による方法とございます。簡単ではございますが、以上で説明とさせていただきます。</p>
仮議長 (坂本部長)	<p>ただいま、事務局から説明がありました。互選の方法といたしましては、選挙と指名推薦がございそうですが、いかがいたしましょうか。</p>

発言者	発言内容
保坂委員	指名推薦の方法がよいと思います。
仮議長 (坂本部長)	保坂委員から、指名推薦とのご意見がございましたが、指名推薦の方法でよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
仮議長 (坂本部長)	<p>異議なしと認めまして、会長及び副会長の選出方法は指名推薦といたします。</p> <p>それでは、どなたか会長及び副会長の推薦をお願いしたいと思います。</p>
黒木委員	<p>会長には諸岡委員を、副会長には今井委員を推薦いたします。これまでの会議を円滑に進めておられましたので、引き続きお引き受けいただきたいと思います。</p>
仮議長 (坂本部長)	<p>黒木委員から、会長に諸岡委員、副会長に今井委員との推薦がございました。他に推薦をされる方はいらっしゃいませんか。</p>
各委員	(他に推薦者なし)
仮議長 (坂本部長)	<p>他に、推薦される方もいないようですので、ただいま推薦のありました諸岡委員に会長を、今井委員に副会長をお願いすることにご異議ございませんでしょうか。</p>
各委員	異議なし
仮議長	異議なしと認めまして、会長には諸岡委員、そして副会長

発言者	発言内容
(坂本部長)	<p>には今井委員にそれぞれお願いすることといたします。諸岡委員、今井委員、前期に引き続きましてよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、会長及び副会長が選出されましたので、これで仮議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局 (荒木主任主事)	<p>諸岡委員におかれましては会長席に、今井委員におかれましては副会長席に移動をお願いいたします。</p> <p>(会長、副会長席へ移動)</p>
事務局 (荒木主任主事)	<p>ここで、お二人から就任のご挨拶を頂戴したいと存じます。諸岡会長、続いて今井副会長の順でお願いいたします。</p>
諸岡会長	<p>皆さんこんにちは。前期に引き続きまして、推薦をいただきましてありがとうございます。この会議を円滑に進めたいと思いますので、皆様の力をお貸しいただきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。</p>
今井副会長	<p>こんにちは。私も会長を補佐して、この会議を円滑に進めていきたいと思ひますので、ご協力よろしくお願いいたします。</p>
事務局 (荒木主任主事)	<p>ありがとうございました。ここからの議事進行は諸岡会長にお願いいたします。</p>
議長	<p><次第4 会議録署名人の指名></p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p>

発言者	発言内容
(諸岡会長)	<p>まず、議事に入る前に、本日の会議録署名人の指名ですが、私のほかに、慣例により委員の中から一人にお願いしております。今回は都倉委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p><次第5 議題></p> <p>次第5の議題に入ります。</p>
(諸岡会長)	<p>議題(1)「私立富津保育園の利用定員の変更について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>(資料4「特定教育・保育施設利用定員の減少について」を使用)</p>
事務局 (中山課長)	<p>議題(1)「私立富津保育園の利用定員の変更について」ご説明を申し上げます。</p> <p>資料は、本日お配りいたしました資料4をご覧ください。</p> <p>令和3年11月22日に、社会福祉法人富津福社会から運営する富津保育園の利用定員に関して、減少させる変更届が提出されました。</p> <p>表の中段の変更内容に、年齢区分別に利用定員の変更前、変更後と差引を記載しております。</p> <p>0歳児では15人から13人に2人の減、3歳児で30人から27人に3人の減、4歳児は30人から28人に2人の減、5歳児は30人から27人に3人の減、全体では150人の定員を140人に、10人の減を行うものです。</p> <p>変更を適用させる日は、令和4年4月1日です。</p> <p>変更の理由は、記載のとおり、150人の定員まで児童を預かることが難しいこと。また、それに伴い、人件費の確保に苦慮していること。さらには、今後も児童数の減少が見込ま</p>

発言者	発言内容
	<p>れていることを理由としております。</p> <p>市としては、児童全体の数は減少傾向が続いておりますが、保育の利用開始年齢は年々下がっており、富津地区の3歳未満児の受け入れ枠拡大は必要と考えていることから、法人に対し、市の方向性に対しご理解いただき、定員の減少も最小限にとどめていただくよう申し入れをいたしました。法人内部での再検討の結果、お手元の変更届となりました。</p> <p>この利用定員は、県や市の許可があるものではなく、法人が市に対して変更届を提出し、県に届け出ますが、子ども・子育て支援法の規定により、保育所等の利用定員については、市はこの子ども子育て会議の意見を聞くこととなっておりますので、届出の内容を報告するとともに、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>このあと、社会福祉法人富津福祉会からの補足をお聴き取りいただき、ご意見をお寄せいただきたいと思いますので、富津福祉会の発言をお許しいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長 (諸岡会長)</p>	<p>ただいま、事務局から説明を受けましたが、補足で事業当事者からの発言を認めることとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし</p>
<p>議長 (諸岡会長)</p>	<p>それでは、設置主体の社会福祉法人富津福祉会から本件に係る説明をお願いいたします。</p>
<p>社会福祉法人 富津福祉会 (飯田委員)</p>	<p>富津保育園の飯田と申します。理事長、園長に代わり、私副園長の方からお話させていただきます。</p> <p>この数年来、150人の定員を年間通して満たすということ</p>

発言者	発言内容
	<p>が難しくなってきたておきまして、今回、市の方にご相談に上がりました。</p> <p>人数の減少は、富津市の再配置計画の中でも一番求められている0歳から2歳の入園に関しましては、大幅な減少はしないで現状に近い形で維持していければ、市の方には最小限の負担にはなるのかなと思いますので、どうぞご理解いただければと思います。</p>
<p>議長 (諸岡会長)</p>	<p>社会福祉法人富津福祉会からの説明が終わりました。まず、富津福祉会に対してのご質疑等はございますでしょうか。</p>
<p>黒木委員</p>	<p>富津保育園では、保育士の数は減少傾向にあるという理解でよろしいでしょうか。</p>
<p>社会福祉法人 富津福祉会 (飯田委員)</p>	<p>保育士の数は減少にはなっておりません。ただし、子どもの受入人数が2歳まではほぼ定員のとおりに入数はありますが、3歳以上になりますと人数が増えていかなくて150人に達しないというのが現状でございます。</p> <p>今回の変更の内容にあたりましては、3歳以上児の人数を減らさせていただいて人件費の確保を見込めたらいいかなと思っております。</p>
<p>議長 (諸岡会長)</p>	<p>他にございますでしょうか。</p> <p>この会議において、利用定員について意見することとなっておりますので、委員の皆さんのご意見をお聞かせいただきたいと思っております。この定員減少について、何かありましたらご意見をお願いいたします。</p>

発言者	発言内容
都倉委員	<p>まだ説明を受けていませんが、富津市市立保育所再配置計画（案）に絡めてのことでもよろしいのでしょうか。あくまでも、今の富津保育園に関わる部分のみということでしょうか。</p>
議長 (諸岡会長)	<p>そうですね。このあと、再配置に関しては議題といたしますので、そちらでお願いしたいと思います。</p>
都倉委員	<p>わかりました。今の話を聞いて単純に数字が動くと思いましたが、その影響があるのではないかと思ったものですから。それでは、後ほど計画案の説明を受けてからの方がよろしいですね。</p>
事務局 (中山課長)	<p>都倉委員のお話は、この計画（案）に対して、今の定員減少を見込んでいるのかという指摘だったかと思います。</p>
都倉委員	<p>富津保育園の定員を落とすということになりますと、単純に計画の数字に影響が出るのではないかと思いましたが、そちらの影響があるのかどうか、その辺を確認したいと思いました。</p>
事務局 (中山課長)	<p>お手元にお配りしている計画案については、富津保育園からの利用の減少分は反映しておりません。減少させるのが令和4年度4月からということもありますし、この計画については、今現在の数で立てているものであります。</p> <p>また、先ほど部長からもご報告させていただきましたけれども、今後、青堀の次期運営事業者のこともありますので、計画案については現在の定員で計算しております。</p> <p>当然、3歳未満児の枠を拡大していかなければいけないと</p>

発言者	発言内容
議長 (諸岡会長)	<p>いうところは最重要ですので、また別の方策というのをいろいろと尽くして考えていきたいと思っております。</p> <p>他にご質疑ありませんか。</p>
委員	(質疑なし)
議長 (諸岡会長)	他にないようですが、事務局の方から何かありますか。
事務局 (中山課長)	先ほど説明の中でも申し上げましたが、この後、利用定員減少届につきましては、千葉県へ報告させていただきまして手続きとしては完了となります。
議長 (諸岡会長)	利用定員の変更についてはよろしいでしょうか。
委員	(意見等なし)
議長 (諸岡会長)	<p>次に、議題（２）「富津市市立保育所再配置計画（案）について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>（資料１「グループ討議意見と市の考え方」、資料２「公立保育所再配置計画たたき台からの変更点」、資料３「富津市市立保育所再配置計画（案）」を使用）</p>
事務局 (中山課長)	議題（２）「富津市市立保育所再配置計画（案）について」ご説明を申し上げます。

発言者	発言内容
	<p>資料1は、これまで計4回のグループ討議で出された意見とそれに対する市の考え方をまとめたものです。</p> <p>次に、計画案の説明に先立ちまして、大変申し訳ございませんが、資料の訂正をお願いいたします。資料3の27ページをお開きください。26ページから続く表の地区小計欄の右側「605」とありますが、正しくは「558」ですので、お詫びして訂正いたします。</p> <p>では、計画案の説明に入らせていただきます。</p> <p>これまでの会議の中で、現状や課題についてはご説明申し上げてきましたので、ここではたたき台からの変更点をご説明させていただきます。資料3の冊子と本日お配りした差し替え後の資料2をご覧ください。</p> <p>まず、資料2の項番1の「たたき台」からの変更趣旨では、前回まで議論いただいていた「たたき台」と今回お示した冊子の計画案とどんな変更をしているかまとめております。</p> <p>1点目、昨年度3回、今年度4回と今まで検討いただいていた会議資料、課題や役割等をその都度バラバラにお示してきたものを、計画書、冊子の形に組替え、体裁を整えております。矢印で結んだものは、計画書と会議資料の関連性を示しております。左側はこれまでの会議資料の内容が、右側には計画案のどこに記載しているかを表しています。</p> <p>例えば、令和2年11月18日の会議資料2で示した基本方針や基本的な方向性は右側7や8に記載されていることを、逆に右側の6課題は令和3年3月12日の会議資料1で皆様にお示ししていることを表した表です。</p> <p>項番1の2点目は、たたき台では様々な数値、データを用いておりますが、令和2年度の数値だったものを令和3年度の数値に修正しております。</p> <p>次に、それ以外の変更点を項番2の変更点として表にまと</p>

発言者	発言内容
	<p>めております。一番左の数字は、資料3の計画案の該当ページを指しますので、恐れ入りますがそちらも併せてご覧ください。</p> <p>計画書9ページ、(3)施設の記述のうち、「グラフ-4、今後の市立保育所年度別施設更新費用」の下、●の1点目に民間保育園の整備費用の対象経費に対する国及び県の負担割合を追記いたしました。</p> <p>10ページ、5の人口推計及びニーズ量の見込みの「グラフ-6、市立保育所・私立保育園入所児童数の推移」は、グラフに用いていた数値に誤りがありましたので、グラフ全体を差し替えております。</p> <p>17ページ、6の課題(1)保育士の確保の中段「また、～」以降の段落、たたき台では表で示していた国の保育士配置基準を文章にしております。</p> <p>19ページ、(3)運営費の状況の中段●の1点目、保育に要する費用について、民間保育園の場合の負担割合を併せて追記いたしました。</p> <p>24ページ及び25ページ、こちらにはグループ討議の中で、「小規模保育所」や「送迎ステーション」のイメージがわからないといったご意見をいただきましたので、【参考】として市の考える小規模保育所及び送迎ステーションの説明を追記いたしました。</p> <p>26ページ、9の具体的な再配置の(1)富津地区の取組みの表の2段目、項目名を「小規模保育所」としていたものを分かりやすいように「3歳未満児受け入れ枠の拡大」と変更いたしました。そして、内容欄に①案と②案を併記して追加いたしました。</p> <p>29ページ、(3)天羽地区の取組みの表の2段目、竹岡保育所の内容欄に、「金谷保育所の施設の状況によっては、金</p>

発言者	発言内容
<p data-bbox="220 1442 399 1541">議長 (諸岡会長)</p> <p data-bbox="220 1877 352 1912">都倉委員</p>	<p data-bbox="507 264 1382 488">谷保育所の3歳以上児の竹岡保育所への集約を前倒しし、その後、移管統合後の中央保育所への集約と2段階で実施する」ことを追加し、金谷保育所の取り組み内容との整合を図りました。</p> <p data-bbox="507 517 1382 801">31 ページ、10 の取組時期の目安の表に、令和3年度の取組みとして、富津地区の「青堀保育園次期法人決定」及び天羽地区の「金谷地区 小規模保育所実施場所検討」を追加し、金谷保育所については継続していることを表すため矢印を追加いたしました。以上がたたき台からの変更点です。</p> <p data-bbox="507 831 1382 1048">再配置の取組み内容としては変更なく、これまでご説明してきたとおり、子どもたちのためにより良い保育環境を提供するため、市立保育所の再配置を進める計画案としております。</p> <p data-bbox="507 1077 1382 1361">こののち、計画として決定するには広く市民意見を聞くパブリックコメントを行うわけですが、本日お示しした計画案によってパブリックコメントを実施することとしてよろしいか、この会議にお諮りいたします。よろしく願います。</p> <p data-bbox="539 1442 979 1478">事務局の説明が終わりました。</p> <p data-bbox="507 1507 1382 1792">本日晒された案をもってパブリックコメントの実施に係る案としてよろしいか、これから皆さんに採決をしていただくこととなります。そのため、いま一度確認したいことや申し添えたいこと、率直に疑問に思っていることなどを挙げていただければと思います。ご意見、ご質疑等はございますか。</p> <p data-bbox="544 1877 1144 1912">1点確認させていただきたいと思います。</p> <p data-bbox="507 1942 1382 2040">ただいまの事務局の説明にはなかったですが、計画案 20 ページの表-7に、昭和62年度決算と令和2年度決算が表</p>

発言者	発言内容
	<p>で比較されております。年間児童数といたしましては、令和2年度がほぼ3分の1に減少しています。それに対しまして、1人当たりの経費といたしましては4倍まではいきませんが3.7~3.8倍の経費がかかっている状況だというように書かれておりますが、こちらの1人当たりの経費が3.7~3.8倍になるという内訳がわかりましたら確認させていただきたいと思います。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>内訳というのは増えた要因というようなことでしょうか。</p>
<p>都倉委員</p>	<p>はい、そうですね。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>細かいところまで比較、検討、精査までは至っておりませんが、やはり人件費の部分での増加が大きいのではないかなというふうには考えております。</p>
<p>議長 (諸岡会長)</p>	<p>他にご質疑ありませんか。</p>
<p>今井副会長</p>	<p>各地区の統合後の3歳児以上の教育・保育については、市としては撤退、民間に移管するという全体的に大きな捉え方としての認識でよろしいのでしょうか。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>撤退といいますか、より良い保育環境を提供する。これは何度もこの会議でお話が出ていたかと思いますが、3歳以上児のお子さんにはある程度の人数で形成する集団の中で社会性を獲得する。そういったことが大事なのだというところでは、いまのそれぞれの形での公立保育所では、それを実現</p>

発言者	発言内容
今井副会長	<p>することが難しいですので、集約又は民間にお願いできるところはお願いしていきたいというのが方向性でございます。</p> <p>民間と官が協働するという部分でいうと、これから少子化の時代になってきたときに、私立の保育所或いは保育園、認定こども園がどうやって生き残っていくかという部分でいうと、競合は絶対に避けたい。そういう意味で言うと、市が私たち私立の保育園、幼稚園に期待をかけていただいているということはありがたいことだというふうに思っています。</p> <p>一方、その部分で、市として3歳以上のお子さんの保育や教育についての質的な保証を担保するのかというところはどのようにお考えなのかお聞かせいただければと思います。</p>
事務局 (中山課長)	<p>市というよりも、そもそも保育というものは国の方が保育指針等で定めておりますので、そちらの方に則っていただく。その中で、公立、私立だけになったとしても、富津市の子どもたちが指針に則った保育、また、認定こども園の教育要領ですとか幼稚園の教育要領等があります。</p> <p>国の方では、小学校にあがるまでの間に、ここまで育てほしいという姿を示すような動きもあるようですので、そちらの方を意識しながら、小学校までより良い環境の中で過ごすことができるように、市としてもいろいろな策をとって支援等していければというふうに考えております。</p>
今井副会長	<p>市としてその辺のところは公立ではない、私立の保育園や幼稚園に対してのたしかに教育・保育をしているというようなエビデンスみたいなものをどうやってとっていくのかというところはどういうふうにお考えですか。</p>

発言者	発言内容
事務局 (中山課長)	<p>県の指導監査等もありますが、そういった場を利用して市も実際にどういった保育をされているのか。また、法人としてどういった考え方で保育又は幼児期の教育を行っているのか。そういったところは一緒に確認させていただければいいなというふうに思っております。</p>
今井副会長	<p>また、その辺のところはぜひ検討していただきたいというふうに思います。</p> <p>もう一方、私立の私が言うのもなんですが、公立保育所に実際に採用されている職員について、これから保育を一生懸命頑張っていこうというふうになっていく中で、3歳以上のお子さんの保育については撤退という言葉が相応しいかはわかりませんが、民間の方にまかせるというところになってきたときに、そういう職員のモチベーションはどうなのかなというところがあります。</p> <p>昨日、私立幼稚園連合会の方から、国の子育て会議の速報というのが出てきたのですけれども、その中に、公立と私立の連携みたいなものも過疎化のある地域については、今後検討していくことも視野に入れてほしいというところもありました。</p> <p>例えば、任命権者は市だけれども、服務監督は私立の保育園や幼稚園というあり方も十分考えられるし、その中で、そういう職員のモチベーションを維持していくのも一つの方法だし、私立の私たちにとっても優秀な人材が私立の中に市の負担で勤務していただけるというのは大変ありがたいことだと思いますので、国の動向を注視しながら、富津市でもぜひそういうことが可能ならば取り入れていただきたいなというふうに思います。</p>

発言者	発言内容
事務局 (中山課長)	<p>現在、公立保育所に勤めている職員のモチベーションというのは大変大事だと思っておりますので、その辺は丁寧に説明していくことと、また、保育所以外のところでも子育て支援のニーズ、特に家庭の方から市の方へ目が向かないといえますか、そういうご家庭も多いことはたしかです。</p> <p>こちらの方から、アウトリーチ型とって働きかけができるような子育て支援というのもこれからは考えていかなければいけない。そこで、やはり保育士の専門性というのは活かしていけたらいいなと思っているのも一つの方策としてあります。</p> <p>今井副会長の方から仰っていただいた新しい形、公民連携型の認定こども園のことなのかなというふうに思って聞いておりました。こういうものも、国の方も地方の保育所、又は幼稚園などの生き残りというのでしょうか。これからも継続していくために、様々な制度を考えていると思います。富津市もその時点でさまざまな選択肢を排除せずいろいろなことを検討しながら、今後、この再配置というものを考えていければと思っております。</p>
議長 (諸岡会長)	<p>他にご質疑はございませんか。</p>
各委員	<p>(質疑なし)</p>
議長 (諸岡会長)	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>他にご質疑等も無いようですので、議題について採決をしたいと思っております。事務局の示した案をもってパブリックコメントの実施に係る案とすることに賛成の方の挙手を求めます。</p>

発言者	発言内容
各委員	(全員挙手)
議長 (諸岡会長)	<p>挙手全員であります。よって、事務局の示した案を富津市市立保育所再配置計画(案)のパブリックコメント案とすることといたします。</p> <p>それでは、事務局から今後のスケジュールについて説明をお願いします。</p>
事務局 (中山課長)	<p>まずは、計画案についてご承認いただきありがとうございました。これにより、パブリックコメントを実施いたしますので、今後のスケジュールなどをご説明いたします。</p> <p>年明け1月4日から2月3日までの1か月間、意見を募集いたします。計画案は、市ホームページのほか、本庁子育て支援課、1階行政資料コーナー及び市民会館に冊子を備え置き、閲覧できるように対応いたします。</p> <p>パブリックコメントの実施については、広報ふつつ1月号のほか、市ホームページにも掲載いたします。</p> <p>提出期間終了後、意見及びそれに対する市の考え方、計画案への反映の有無等を取りまとめ、この子ども子育て会議に報告いたします。どのくらい意見が提出されるか分かりませんが、取りまとめにある程度の期間をいただきますので、3月中頃過ぎに委員の皆様にお知らせしたいと考えております。</p>
議長 (諸岡会長)	<p><次第6 その他></p> <p>議題は以上になりますが、委員の皆さんから何かありましたらお願いします。</p>
各委員	(質疑等なし)

発言者	発言内容
議長 (諸岡会長)	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>ないようですので、事務局から何かありましたらお願いいたします。</p>
事務局 (荒木主任主事)	<p>次回の会議についてご連絡いたします。次回、第5回富津市子ども・子育て会議の開催日時につきましては、決まり次第通知させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
議長 (諸岡会長)	<p><次第7 閉会></p> <p>それでは、本日の日程はすべて終了いたしました。</p> <p>以上をもちまして、令和3年度第4回富津市子ども・子育て会議を閉会といたします。委員の皆様には、長時間にわたりましてご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。</p>